

資料 2

平成 27 年 12 月定例会（事前）
文教厚生委員会資料
教 育 委 員 会

阿南工業高校・新野高校の再編統合に係る計画（案）

徳島県教育委員会

目 次

1	新高校の概要	1
2	教育の基本方針	2
3	教育内容	3
4	教育環境の整備	5
5	開校に向けた取組	5
図 1	新高校の統合イメージ	6
図 2	新高校における教育のイメージ	7

1 新高校の概要

阿南工業高校と新野高校を再編統合し、「全国初となる農工商が一体化した総合産業高校」を新たに設置する。

新高校においては、両校がこれまで培ってきた教育を継承するとともに、6次産業化に対応した新たな学科を設置し、「農工商が一体化した特色ある教育」や「ものづくりを重視した教育」を展開する。

(1) 設置学科 <学科等は仮称>

学 科 等	
産業創造科	総合サイエンス系
	地域クリエイト系
	バイオサイエンス系
	フードデザイン系
	情報ビジネス系
工業科	機械ロボットシステム科
	電気情報システム科
	都市環境システム科

(2) 設置場所

新高校は、その教育に必要な施設を確保するとともに、さらに教育環境の充実を図るため、現阿南工業高校の校地（以下「宝田キャンパス」という。）及び現新野高校の校地（以下「新野キャンパス」という。）において、一体的な教育を行う。

(3) 開校年度

新高校の開校年度は、平成30年度とする。

(4) 統合方法

平成28年度までに阿南工業高校及び新野高校に入学した生徒は、それぞれの学校の生徒として卒業する。

平成29年度に阿南工業高校及び新野高校に入学した生徒は、平成31年度に新高校に転学し、新高校の生徒として卒業する。

2 教育の基本方針

(1) めざす学校像

- ① 生徒の個性や能力を伸ばし、大学進学から就職まで一人一人の進路希望が実現できる学校
- ② グローバルな視点に立ち、時代の変化や技術の進展に対応した総合的な産業教育を展開する学校
- ③ 人格形成をめざし、心豊かでたくましい人を育む学校
- ④ 地域とともに新たな価値を創造し、地域の発展に貢献する学校

(2) 育てたい生徒像

- ① 自ら学び、自ら考え、夢に向かって意欲的に学び続ける生徒
- ② コミュニケーション能力や情報活用能力を身につけ、広く産業界で活躍する生徒
- ③ 地域の一員として、ボランティア活動などに進んで取り組む生徒
- ④ 次代の地域産業を担う実践力を備え、地域社会を活性化する生徒

3 教育内容

(1) 特色ある教育

① 学科併設のメリットを活かした教育

ア 生徒の能力・適性，興味・関心，多様な進路希望に対応するため，学科の枠を越えた科目選択により幅広い学習ができる総合選択制を導入する。

イ 産業構造の変化や産業の複合化に柔軟に対応できる知識・技術を育成するため，農工商一体による6次産業化に対応した実践的な教育を展開する。

② 地域資源等を活かした教育

ア 地域の現状や特性を理解し，地域の未来を創造する力を身につけるため，LEDなどに代表される地域資源や地域の技術力・教育力を活かした教育を推進する。

イ 望ましい職業観，勤労観や社会人として必要な能力や態度を育てるため，地元企業や地域社会との連携を深め，インターンシップなど校外における体験的，実践的な学習を積極的に取り入れる。

③ 地域社会と連携した教育

ア 地域の防災活動等において，適切な役割を自ら判断し主体的に行動する力を育むため，地域の防災・減災の視点に立った教育活動を推進する。

イ 思いやりの心をもつ地域の担い手を育成するため，自らを成長させ，地域に貢献するボランティア活動や社会体験活動を推進する。

④ 高等教育機関等と連携した教育

ア グローバル化や科学技術の進展等に伴い高度化した専門知識・技術や複合的な産業の発展に対応するため，高等教育機関等と連携した専門教育を展開する。

イ 専門性の深化や高度な技術習得のため，公的研究機関等の最新設備や人材を活用した教育を展開する。

(2) 各学科の教育

① 産業創造科

総合サイエンス系	地域の産業や環境・文化について学ぶとともに、高等教育との接続を視野に入れた科目を充実させることにより、4年制大学等へキャリアアップする人材の育成をめざす。
地域クリエイト系	産業に関する幅広い知識を習得し、6次産業化によるビジネスモデルの構築や地域から新たなビジネスを創造する起業家精神に満ちた地域産業の発展に貢献する人材の育成をめざす。
バイオサイエンス系	花き類・野菜などの生産と植物バイオテクノロジーに関する知識と技術を習得し、地域で生産性を高める栽培方法の研究や品種改良などに取り組む人材の育成をめざす。
フードデザイン系	食品の開発から加工，流通，販売などに関する知識と技術を習得し，地域の素材を活かした商品開発，食の安全・安心の確保や起業的な活動などに取り組む人材の育成をめざす。
情報ビジネス系	情報と商業の専門科目を融合して学ぶことを通して，情報収集・発信能力やビジネス力など，デジタル化，ネットワーク化された情報社会に対応できる人材の育成をめざす。

② 工業科

機械ロボットシステム科	機械の基本的な知識や技術を習得するとともに，自動制御やロボット工学などのメカトロニクスの技術を身につけ，「ものづくり」の分野で幅広く活躍できる人材の育成をめざす。
電気情報システム科	電気の基本的な知識や技術を習得するとともに，電気工事，電力技術，電子技術，情報通信などの応用技術を身につけ，生活に欠かせない電気分野で幅広く活躍できる人材の育成をめざす。
都市環境システム科	建設の基本的な知識や技術を習得するとともに，住まいから都市計画，防災の技術を身につけ，住みよい環境を創造し社会基盤の整備に関する分野で幅広く活躍できる人材の育成をめざす。

4 教育環境の整備

(1) 既存の施設・設備を有効活用する。

(2) 計画的に施設の耐震化を行う。

(3) 各キャンパスごとに必要となる施設・設備の整備を図る。

- 宝田キャンパス 座学及び工業教育を中心とした教育を展開するため、教室・実習室・職員室を備えた教室管理棟の整備、工業科棟の大規模耐震改修など。
- 新野キャンパス 新高校の研究・実習フィールドを展開するため、講義室・実習室を備えた校舎の整備と地域開放も行う人工芝多目的球技場、実習庭園及び植物園の整備など。

5 開校に向けた取組

平成28年4月に開校準備委員会を設置し、開校準備を進める。

(1) 構成員

阿南工業高校、新野高校及び県教育委員会の関係職員

(2) 検討内容

① 学校運営に関すること

(学校の教育目標、学科の教育目標、教育課程、必要な教育施設、生徒募集、学則、諸規程など)

② 校名、校章、校歌、校旗、制服に関すること

③ 教育環境の整備に関すること

④ 円滑な統合を図るための学校間連携に関すること

⑤ その他（部活動など）

図1 新高校の統合イメージ

	H29年度			H30年度			H31年度		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
阿南工業高校	工業科	工業科	工業科	募集停止	工業科	工業科	閉校		工業科
新 高 校				新工業科 産業創造科 新高校開校			新工業科 産業創造科 新工業科 産業創造科 工業科 総合学科		
新 野 高 校	総合学科	総合学科	総合学科	募集停止	総合学科	総合学科	閉校		総合学科

↓ 転学

↑ 転学

- (1) 平成28年度までに阿南工業高校及び新野高校に入学した生徒は、それぞれの学校の生徒として卒業する。
- (2) 平成29年度に阿南工業高校及び新野高校に入学した生徒は、平成31年度に新高校に転学し、新高校の生徒として卒業する。
- (3) 平成30年度から阿南工業高校・新野高校の募集を停止する。

図2 新高校における教育のイメージ



